

六月の御教え

広い世間には、鬼のような心を持っている者もないとは言えな
いが、人間であつたら、気の毒な者を見たり難儀な者の話を聞
けば、かわいそうになあ、何とかしてあげたらと思つうものであ
る。神の心は、このかわいいの一心である。

……「天地は語る」第二十九条……

解説

金光教祖御理解に「かわいいと思つ心が神心である」とありますが、冒頭
の御教えから、この“かわいい”との意味は“かわいそうな”との憐憫の
情であることが分かります。

確かに鬼のような残虐極まる人間の存在も、日常の報道により、否定すること
は出来ませんが、しかし、それは自己中心の我情我欲に支配された人間性の負
の部分で露呈した不幸な姿であり、神心を失つた哀れな人間の姿であります。
故に私達信奉者一同は、神様から与えられた神心である“かわいそう”との憐
憫の情を基にして「神のおかげにめぐみ、お礼と喜びの生活をすすめ、神心と
なつて人を祈り助け導く。」信心の稽古に勤しむことが神様の御心に叶うこと
であります。